

地域での実績

今回は城南区における活動実績をご報告いたします。

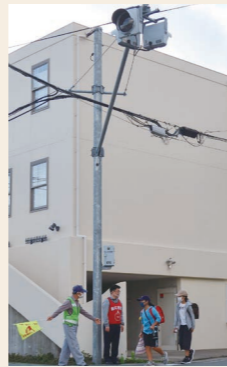
樋井川水害対策

おにき誠が中央区の県議を務めていた平成21年7月、九州北部豪雨が福岡を襲い、鳥飼・草香江地域は増水した樋井川が決壊寸前となりました。おにき誠は速やかに樋井川の浚渫事業に取り組み、豪雨が来ても川が溢れないよう対策しました。



茶山点滅信号設置

茶山四ツ角から国設茶山住宅跡地へ抜ける道の最初の交差点が、狭くて交通量が多く危険な箇所となっています。地域の要望を受け点滅信号を設置し、その後も引き続き現地調査や交通対策に取り組んでいます。



中村大学前交差点渋滞対策

中村大学前交差点は西向きの車線が二車線しかないことから、左折車線と右折車線に車が溜まり、六本松方面まで続く渋滞箇所となっていました。別府交番や中村学園さんにセットバックしてもらうことにより車線を増やし、直進の車が抜けるように改良しています。(令和4年度完成予定)



おにき誠
LINE公式アカウント
ご登録・拡散
よろしくお願いします!



※これらの実績はご当地の県議、市議と連携して成果を上げています。

ヒストリー

幼少時代



小学生時の夢は、政治家になって「世界を平和にすること」。

学生時代



高校から続けるラグビー。その熱意でW杯を地元・福岡に誘致。

銀行員時代



銀行員として地域の現場で、生きた経済や地域の実情を学ぶ。

政治家へ



30歳で県議会議員、40歳で衆議院議員となり実績を重ねる。

衆議院議員おにき誠プロフィール

- 昭和47年10月 福岡市生まれ
- 田島小学校(城南区)卒 ●当仁中学校(中央区)卒
- ラ・サール高校卒 ●九州大学法学部卒
- 平成7年～14年 西日本銀行(西日本シティ銀行) 渡辺通り支店～大名支店
- 平成15年～24年 福岡県議会議員(3期10年)
- 平成24年12月 衆議院議員に初当選
- 平成26年12月 衆議院議員再選(2期目)
- 平成27年10月 環境大臣政務官
- 平成28年10月 自民党税制調査会幹事
- 平成29年10月 衆議院議員再選(3期目)

主な役職(令和2年10月～)

- | | |
|---------------|---------------|
| 【衆議院】 | 【自民党】 |
| 経済産業委員会(理事) | 厚生労働部会(部会長代理) |
| 財務金融委員会 | 社会保障制度調査会(幹事) |
| 倫理選挙特別委員会(理事) | 総合エネルギー戦略調査会 |
| 憲法審査会 | (事務局次長) |

地元「福岡」の皆様の声を国政に届けて参ります!

衆議院議員
おにき誠
後援会事務所

衆議院議員 おにき誠後援会事務所
〒810-0023
福岡市中央区警固1-12-11
アーバンスクエア警固2階
Tel 092-791-7901
Fax 092-791-7909
Mail makoto@onikidon.com



衆議院議員 福岡2区[南区・中央区・城南区] 自民党

おにき誠新聞 NO.13
2021年8月発行



今を乗り越え、未来を創る。

ワクチン開発できる日本へ

新型コロナウイルスが猛威を振るってもう一年半以上になります。その間日本では、感染拡大に伴う行動規制(緊急事態宣言など)の発令と解除が繰り返されてきました。誰もが自粛に疲れ、行動規制ももう限界の感があります。この事態に終止符を打つには、新型コロナのワクチン普及と治療薬が必要です。おにき誠は、今後日本はどうやってワクチンや治療薬を開発していくのか、政府に提言しました。



衆議院議員 おにき誠

ワクチン開発における「おにき」の4つ提言!

1

新薬買収などの政府支援

日本企業に新薬開発の技術力がないのではなく、政府支援が乏しく投資回収見込がなかったため創薬されなかったことから政府支援を提言しました。

2

創薬支援

産業政策や「医薬安全保障」の観点からの創薬支援を提言しました。

3

スピードアップ

治験環境の支援や、薬事承認のスピードアップを提言しました。

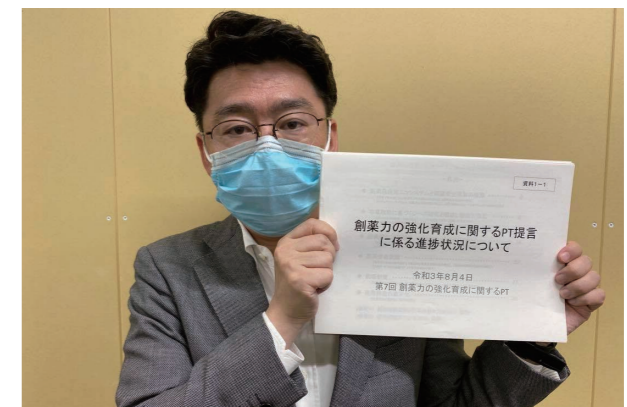
4

訴訟から製薬会社を守る仕組み

日本では過去、ワクチンを巡る訴訟が頻発したため訴訟から守る仕組みを提言しました。



自民党本部でのワクチン対策会議。



創薬力の強化育成に関するプロジェクトチームで提言をまとめました。

おにき誠の得意分野



「おにき議員の専門分野は何ですか?」という質問をよくいただきます。国会議員は法律を作ることが仕事です。一つの法案を作るにも膨大な知識が必要になります。生半可な知識では官僚に太刀打ちできないため、それぞれの議員は自分が取り組む分野を絞り、知識を掘り下げていきます。おにき誠は県議時代から地元の皆さんのあらゆる相談事に応えてきました。それがベースとなり、国政でも幅広い分野の課題解決に取り組んできました。このコーナーでは、おにき誠が熱心に取り組む知識を掘り下げてきた得意分野について紹介します。

得意分野
その③

厚生労働分野

- おにき誠は2年にわたって自民党 厚生労働部会の部会長代理を務めてきました。
- 子どものいないおにき誠は「全ての子どもを我が子として」少子化対策(不妊治療支援や子育て支援)に取り組んでいます。
- 日本が世界に誇る国民皆保険制度(全ての国民が低負担で医療にかかることができる)の持続可能な発展に取り組んでいます。



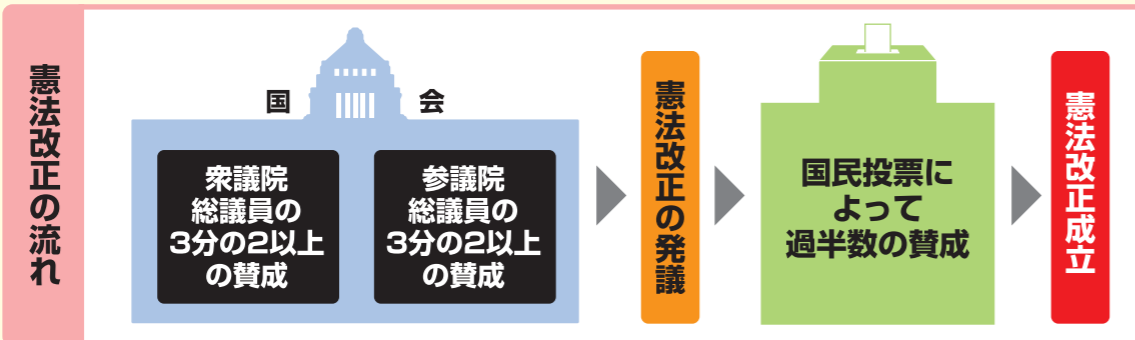
ECMOについて日本臨床工学技師会と意見交換

憲法改正の手続きを定める 国民投票法改正案が成立しました。

憲法の改正は、「国会で衆参各議院の総議員の3分の2以上の賛成を経て発議された後、国民投票によって過半数の賛成を必要とする」と定められています。つまり憲法改正国民投票とは、国民が憲法改正に関して最終的な意思決定をするものです。そのための具体的な手続きが憲法改正国民投票法に定められています。今回の改正案は、国政選や地方選で導入している投票環境の向上策を改憲の国民投票にも反映するものです。この手続き法を改正するだけで、8年以上の歳月を要しました。憲法において大事なことは「真に国民を守ることのできる憲法とはどういうものか?」という真剣な議論です。議論にすら応じない野党の姿勢は立法府としての責任放棄だと感じています。



憲法審査会にて発言



10代のワクチン接種有効性・安全性について

福岡市でワクチン接種が進む中、接種予約の順番がやってきた若い人について、「ワクチンを打ったほうがいいのでしょうか?」との問い合わせが増えています。この件について、厚労省の見解を聞き取りました。

- ワクチンを12歳~17歳に使用した場合も、これまで接種対象となっている18歳以上の者に接種した場合と同様の有効性・安全性が期待できます。※アストラゼネカは原則40歳以上が接種対象。
- 10代において、10万人当たりの陽性者数は60代、70代よりも多く、医療提供体制に一定の影響を与えていると考えられます。
- 健康被害が生じた場合には予防接種法に基づく救済制度の対象となります。また接種を希望する方の接種機会を確保するため、国はワクチン接種対象者を広く設定しています。
- 若年者の接種に関しては、海外においても「リスクベネフィット(危険性と利益ではどちらが大きい?)」の観点から、引き続き推奨されています。ワクチン接種は強制ではありませんが、自分や家族の身を守り、感染拡大による医療崩壊を防ぎ、社会活動や日常を取り戻す上で、大変重要な役割を果たします。10代においても成人と同様の有効性・安全性が示されておりますので、ぜひ接種をご検討ください。

生活困窮者自立支援に取り組んでいます。

おにき誠は中央区の県議時代「大濠公園に住んでいる路上生活者を移動させてほしい」という要望をたくさん受けていました。しかし彼らも生身の人間、移動させても別のどこかで生きていかなければなりません。移動させるのではなく、自立を支援する施設を作ることによって根本的解決を図りました。その経験から「生活困窮は誰もが陥る恐れがある問題」という認識の下、国会でも自民党生活困窮者自立支援プロジェクトチームの事務局長を務めています。また、毎年開催されている「生活困窮者自立支援全国大会」では、いつも自民党を代表して挨拶に登壇しています。



路上生活者への炊き出しに参加するおにき誠

後援会事務所を開設しました!

衆議院の任期満了も近づく中、中央区警固に後援会事務所を立ち上げました! 近くにお越しの際は、お気軽にお立ち寄り下さい。

新事務所の外観です。
この2階になります!



※中央区平尾の事務所は閉じていませんが、ほとんどの機能・人員は警固に移っています。御用の際は警固事務所にご連絡ください。

住所/〒810-0023
福岡市中央区警固1-12-11 アーバンスクエア警固2階
電話/092-791-7901 FAX/092-791-7909

